

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年三月度 入選句(投稿総数千九百五十九句・小中学投句数千三百四十五句)

### 特選

選者 白井 静子

プラランターここにも見える春のにじ 大垣市 古田 晏寿(小五)

冬に初めに植えたチューリップの球根。ルピナスの種。小さな芽が出てきました。日ざしもあたたかくなってきました。冬の間はしなかつた水やりですが、作者はきつとしようろでそれをしたのでしよう。すると太陽の光を受けて、小さなにじが現われました。

「虹」は夏の季語ですが、「春の虹」としたことで、やさしくかわいらしい虹の様子が表現できました。空にかかる大きな虹も素敵ですが、身近なプラランターの虹を見逃さなかつた作者の目もとても素敵です。

ボロボロなスリッパにお礼し卒業す 大垣市 吉田 剛(中三)

中学校の上ばきはスリッパです。三年間のうちには、傷んだり小さくなったりして、何足かはき替えたことでしょう。卒業式の日にも、少し痛んでいたのかもしれない。

スリッパは、足の下で踏みつけられながらも立派に役目を果たしています。作者はそのことに気付き、感謝しているのです。そして、目には見えなくても自分を支えてくれた多くの人がいたことにも気付いています。

感謝の気持ちを「スリッパ」を通して伝えているところが素晴らしいです。

手を握り「つめたいね」って笑い合う 美濃加茂市 羽田 彩華(中二)

「キヤーツ あなたの手、冷たいね。」「そう言うあなただつて、冷たいよ。」と、二人で笑い合つて笑い合つている。たわい無い会話ですが、これだけで二人がとても仲良しだということがわかります。「冷たし」は冬の季語です。「寒さ」よりも直接肌を感じる様子を表しています。ですから、「手を握り」という言葉が生きています。寒さの中にも温かい友情が感じられる、とてもよい句です。

### 秀逸

あたり前だつた毎日なごり雪 大垣市 平野 園恵(中三)

「夢実現」向けて旅立つ卒業生 大垣市 桐山 里奈子(中三)

好きだよと手紙で伝え卒業す 大垣市 吉田 梨花(中三)

吹く風が心をゆらす卒業式 大垣市 西脇 まな(中三)

読みかけの本を返して卒業す 大垣市 傍島 健介(中三)

学舎が白紙に戻る卒業日 大垣市 木村 雅(中三)

サクラの木つぼみもじゅんびとのえる 大垣市 石司 柊雅(小四)

犬走るちようちよがあとについていく 大垣市 西脇 楓華(小五)

ぼくのかた桜ついてる見て見ると 大垣市 石橋 唯斗(小五)

タンポポの綿毛を風に旅させて 大垣市 村山 亮太(小五)

入選

しゃぼん玉ぼくもわたしも飛んでいく 大垣市 村おりょうや(小四)  
 残雪で明るく見える夜の山 大垣市 宮田 紗耶加(小六)  
 春風といっしよに探検中学校 大垣市 山本 拓摩(小六)  
 卒業し最初の一步振り向かず 大垣市 古川 翠(中三)  
 一年中かざっていたいひな人形 大垣市 糺矢 みう(小三)  
 頭までふとんをかぶる寒い朝 大垣市 佐久間 亨弥(小五)  
 口あけてまいりましたとあさりたち 大垣市 高橋 百子(小五)  
 クラスがえ窓から桜の風がふく 美濃加茂市 井戸 由佳(中一)  
 二じゅうとびじいちゃんけいこ春一番 大垣市 富永 実希(小二)  
 目が合うとだれもが笑顔おひなさま 大垣市 安田 匡宏(小四)

入選

卒業 日机の落書き消していく 大垣市 山崎 万葉(中三)  
 まどがわのせきの子明るく見える春 大垣市 関谷 泉吹(小三)  
 チューリップ風がふいたら歌歌う 大垣市 高橋 彩夕奈(小三)  
 おこられて春風すってリラックス 大垣市 小林 千紗(小三)  
 みなわらう色とりどりの梅の花 大垣市 傍島 りん(小三)  
 やどかりがよちよち歩く浜の上 大垣市 宮川 結妃(小五)  
 菜の花がいっぱいでくるばんごはん 大垣市 長谷川 実奈(小五)  
 春風といっしよにとぶぞ二重とび 大垣市 山田 ゆあん(小二)  
 芭蕉祭さくらの花道ふねで行く 大垣市 横田 七香(小二)  
 伊吹山春まちながらあおぎみる 大垣市 柘植 大和(小四)

選者吟

春雪の舞ふんわりと手の上に

静

子